



記者発表日

平成29年 9月 6日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

## 危険な現場で離れた場所から“安全作業” バックホウの遠隔操縦 操作説明会を実施します。

中国技術事務所では、災害等が発生した場合の被害拡大防止、早期復旧支援等を目的として、各種災害対策用機械を配備しています。

この度、二次災害の恐れのある土砂崩落現場等で、離れた場所から作業員の安全を確保したうえで復旧作業を行う、遠隔操縦機能を有したバックホウの遠隔操作説明会を実施しますのでご連絡いたします。

なお、本説明会で使用するバックホウは、当事務所に配備されている「分解組立型バックホウ（1.0m<sup>3</sup>：遠隔操縦装置付き）」で、昨年発生した、熊本地震にも出動し、余震が続く中、遠隔操作による無人化施工で復旧支援に大きく貢献しました。

操作説明会には、災害時に実際に復旧作業を行う中国地方管内の「災害応急活動等に関する協定」を締結している建設会社や各事務所の維持業者などが参加し、緊急的な対応に備え、“より迅速かつ的確に”復旧作業が行えるよう実施するものです。

- 参加人数：中国地方管内より61社・100名が参加予定。
- 日 時：平成29年9月13日（水）～15日（金）9:00～（53社・80名予定）  
平成29年9月21日（木）～25日（月）9:30～（8社・20名予定）
- 場 所：中国技術事務所（広島市安芸区船越南2-8-1）（別紙参照）
- その他：
  - ・訓練はすべて公開で実施します。訓練中の撮影も可能です。
  - ・取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡頂きますようお願いいたします。
  - ・小雨実施。荒天の場合には、中止する場合があります。

### 問 合 せ 先



## 国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

副所長（機械）

岸部 明和

施工調査・技術活用課長

桃崎 英輝【担当】

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

# 分解組立型バックホウ(1.0m<sup>3</sup>:遠隔操縦装置付き) 遠隔操作説明会 会場案内図

住所：広島市安芸区船越南2丁目8番1号  
電話：082-822-2340(代表)  
URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

## アクセス方法

### バスの場合

広島駅12番乗り場から  
海田市方面行き(約20分乗車)  
入川バス停下車 東へ徒歩5分

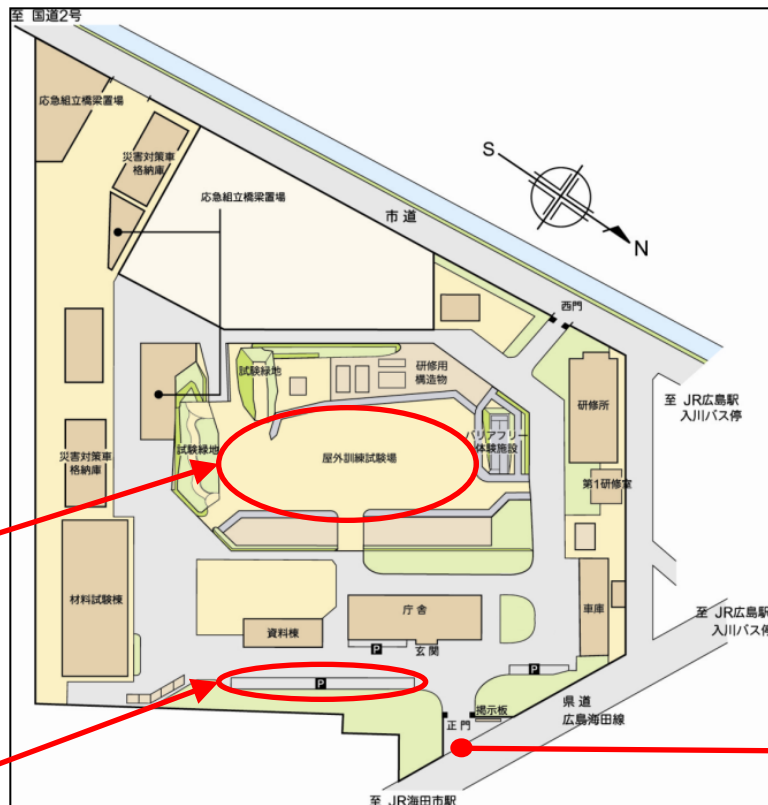
### JRの場合

広島駅から 山陽本線(上り)  
または  
呉線(上り)  
(約10分乗車)  
JR海田市下車 西へ徒歩15分



位置図

**県道広島海田線沿いに  
正門があります。**



**【操作実習】  
遠隔操作説明会  
会場**

**来客用  
駐車スペース**

**こちらの正門より  
お入りください。**

中国技術事務所構内配置図

# 「分解組立型バックホウ（1.0m<sup>3</sup>：遠隔操縦装置付き）」とは？



主要諸元	
形式	油圧式バックホウ
バケット容量	1.0m <sup>3</sup> (標準 山積)
最大吊上能力	2.9t以下
全長(輸送時)	9.595m
全幅(クローラ含む)	2.980m
全高(輸送時)	3.195m
車両総重量	22.81t
車両の分割	13ブロック(1ブロック当たり2.8t以下)
遠隔操作距離	150m程度(マシンガイド機能付き)



## H28熊本地震でも活躍！！



### <分解組立型バックホウ（1.0m<sup>3</sup>：遠隔操縦装置付き）の特徴>

1. 導入・・・平成25年度に中国地方整備局に導入。全国では11台配備。
2. 遠隔操縦・・・崩落等の二次被害が想定される被災現場で、遠隔で操作することにより作業員の安全を確保し、1.0m<sup>3</sup>の大バケットで迅速な復旧作業が可能。
3. 分解組立輸送・・・被災現場までの道が通行不可能な状態でも、分解し空輸して被災現場へ運搬することが可能。
4. マシンガイド機能・・・3次元設計データの設計面とバケットとの差分をモニター画面に表示し、オペレータの操作をサポート。